

営 農 情 報

令和4年5月6日
第11号

水稻苗の葉齢を確認し適期に移植をしましょう。

現在、苗の生育は順調に進み、移植時期が近づいてきています。水稻移植のタイミングは育苗日数ではなく、葉齢を基本に判断しましょう。

また、適期に移植できない場合は水稻液肥による追肥を行い、苗の老化防止に努めましょう。

- ・ 移植適齢葉数に達しており、黄化もなく移植ができる場合は、移植3日前に弁当肥えとして追肥しましょう。

※ マイクロロングなどのロング肥料を使用している場合は、原則追肥は必要ありません。

○ 移植時の苗形質の目標(参考)

育 苗 様 式	成 苗	中 苗
草 丈	10~13cm	10~12cm
乾 物 重	3.0~4.5g / 100本	2.0g以上 / 100本
目 標 葉 数	きらら397 : 3.6~4.4葉以内	3.1~3.8葉以内
	ゆめぴりか : 3.6~4.3葉以内	
	ななつぼし : 3.6~4.0葉以内	

いもち病・ドロオウムシ防除灌注処理剤の施用について

播種同時又はパットホースで粒剤を使用していない方は、移植前に育苗箱へ灌注処理剤を施用しましょう。登録上は移植当日までの散布となっておりますが、効果を安定させるため、移植前日までに散布を終えて下さい。

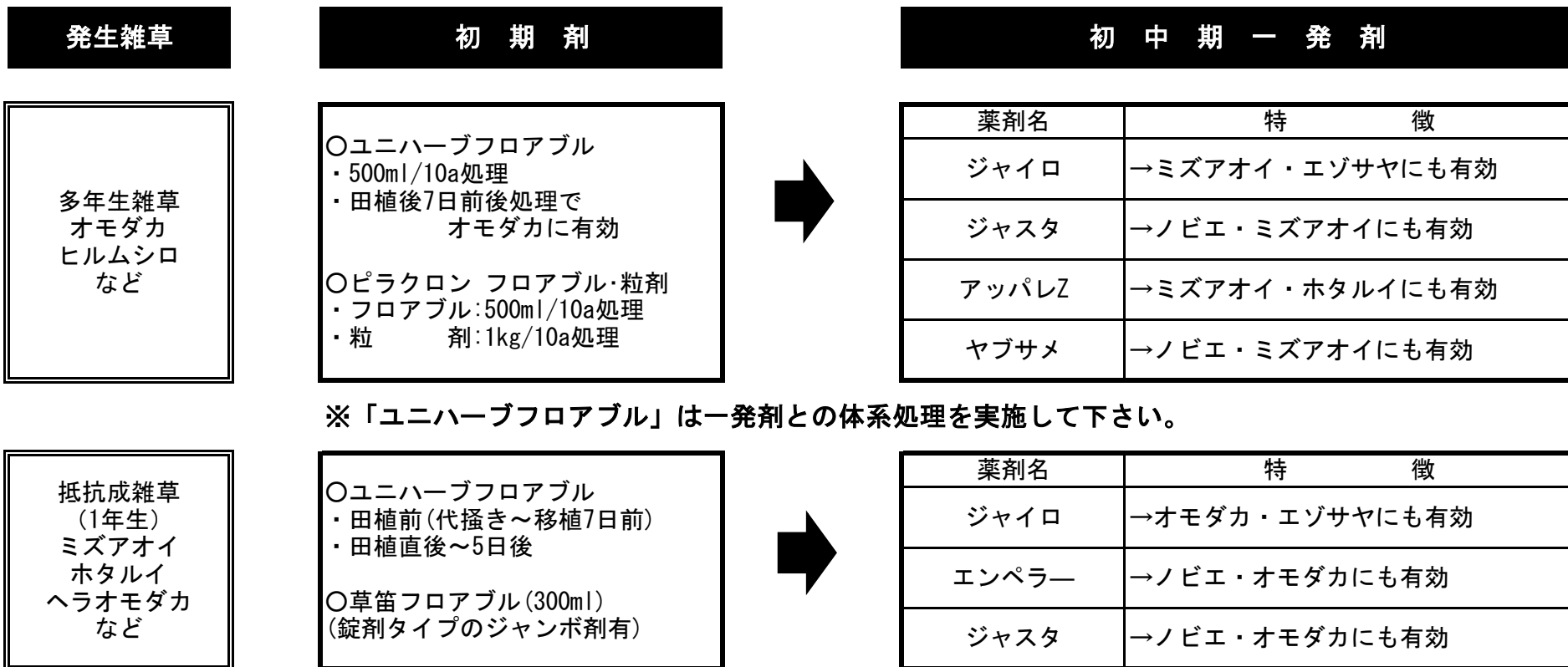
次ページに続く

薬 剤 名	使 用 時 期	使用倍率	※散布水量	対象病害虫
スタウト顆粒水和剤	～移植当日	200倍	中苗…500ml/箱 成苗…300ml/箱	いもち病
バズ顆粒水和剤	～移植当日	1000倍		イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ・フタオビコヤガ

※ スタウト顆粒水和剤、バズ顆粒水和剤は水稻液肥と混用すると薬害が発生する恐れがあるので、混用は避けて下さい。

※ 水稻液肥と薬剤の両方を使用する場合は、先に水稻液肥を施用し、1日間隔を空けて薬剤を散布して下さい

水稻除草剤の選定について



※「ユニハーブフロアブル」は一発剤との体系処理を実施して下さい。